



広島県

くらし設計室

穂垣 友康・穂垣 貴子

【作品名】

坪生の家

設計	くらし設計室
施工	ホーム 株式会社
竣工日	2020年3月23日

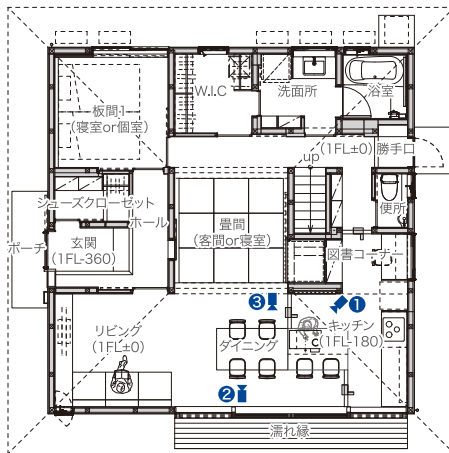
建物概要

建設地	広島県福山市	延床面積	101.07㎡
敷地面積	319.70㎡	構造・規模	木造2階建

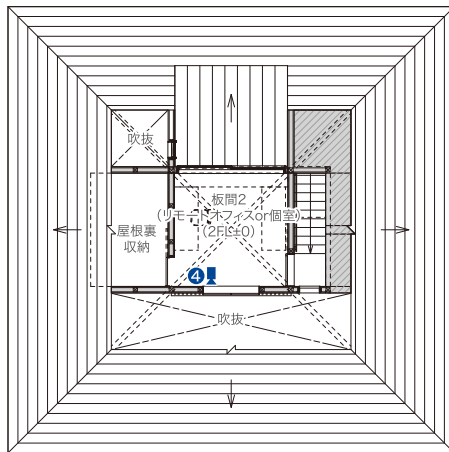
設備面の特記

厨房機器	IHクッキングヒーター・食洗機
給湯機器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン

平面図



1F



2F



- ①キッチン・ダイニングより南側の庭・アプローチを見る。キッチンとダイニングは床に段差をつけ、天板面が同じ高さとなるようにしている。
- ②1階で暖められた空気はダイニング上部の吹き抜けを通して、2階の北側開口から外部へと抜ける計画である。
- ③キッチン・ダイニングから南庭を見る。南側開口部は、外との繋がりを造る造作の木製引分け窓を設置。
- ④2階から見るダイニング・キッチン。南側の庭の緑を眺めながら料理を作り、家族で食事でもできる。

設計コンセプト

敷地は広島県福山市東部の周囲に農地が広がり田畑とともに生活がある地域にある。敷地の東側には親世帯の住宅、西側には農機具用の納屋があり、かつて祖父母が暮らした本家の場所に、家族と戻り暮らすことを決めたご夫婦と子どもたちのための住宅である。住宅は家族の成長や生活の変化に伴い必要な間取りが変わってくる。またコロナ禍による外出自粛やテレワークの普及により住宅は「住む」だけではなく「働く」を受け入れる寛容さが求められている。変わらない地域の自然環境と調和しながら、変化する現代の暮らしに寄り添う「職住一体」の住宅を目指した。方形造りの大屋根の下に庭を眺めながら料理や食事ができるよう、南側にキッチン・ダイニング、明るさを抑えた西側にリビングのソファコーナー、中心に畳間(客間 or 寝室)、東側には図書コーナー、北側

には板間1(寝室 or 個室)や水廻り・クローゼットを配置し、2階には北側の田畑の風景を望む板間2(リモートオフィス or 個室)を設けている。それぞれの空間は完全に仕切るのではなく、回遊できる動線と室内開口により緩やかにつながっている。断面計画は方形屋根の形状をそのまま室内空間に現すことで空間のつながりを作り、温度差を利用した重力換気を行っている。暖められた空気はダイニング上部の吹き抜けを通して、2階板間2の北側開口から外部へと抜ける計画である。敷地の南側には幼い頃に祖父母の家から眺めた庭の風景が変わらずにあった。新しい住まいでもこの風景を暮らしに取り込むことで、大切にしたい家の記憶をつなげたいと考えた。

審査委員講評

正方形プランに方形屋根を被せた可愛い住宅です。目を引くのが中心の四畳半の畳間。板の間でも中庭でもないこの空間がなんとも良い感じです。明確な機能を持たないからなのか、なんだかこの家の時間が少しだけゆっくりと流れているように感じさせてくれます。回遊性のある平面も決して大きくはないこの家を伸びやかなものにしています。